

地域密着型の子どもの居場所

地域の温かい関りをもう一度。
地元清水に恩返し、そして次世代に恩送り

YUUA

杉山 結愛



自己紹介



地域の方に育ててもらった
子ども時代



小学4年生の時に「体育教師」
になることを決意



夢を叶えるために
体育大学へ進学



フィリピンボランティアを経験
孤児院やスラム街へ
世界の教育を学ぶ



12年間追いかけた夢を
叶えて小学校の担任に。

すぎやま ゆうあ
杉山 結愛
清水っこ / 24歳



地域の温かさを再確認



1年で退職し、地元清水で
こどもの居場所づくりを開始。

現在の活動

in清水駅前銀座商店街

学校の時間の子ども居場所

こどものひといきHOUSE YUUA

• 月・火・木・金 10時～15時

• 小1～高3

• 無料

• 清水区真砂町6-25 (アウンしみず)

• 半年間で利用者数延べ200人 (小中高全校種)
不登校・登校しぶり・短縮授業・暇などの理由

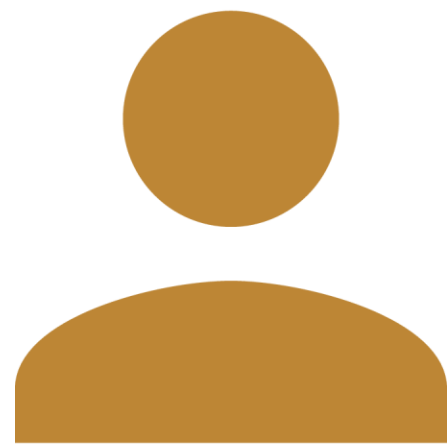
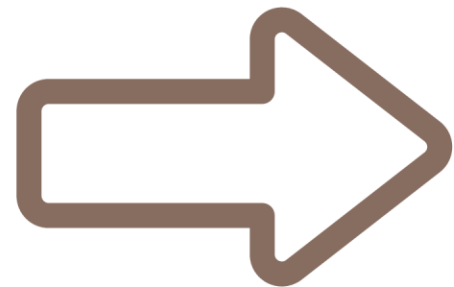


Instagram



社会が抱える問題

- ・ 学校に行くことが困難な子どもの増加
- ・ 社会のさまざまな枠組みからあふれる子どもがいる
- ・ 地域との関わりが少ない
- ・ 家庭の孤立化、家庭の負担が大きい
- ・ 心が豊かではない子どもが増えている



私はどこに行けばいいの？
将来が不安
自分に自信がない


誰のために すべての小中高生


特に、登校しぶり・不登校・家庭環境に困難さを抱える子ども


目指す社会


切れ目と境目がなく、緩い繋がりが継続してもてる社会
地域密着型の子ども居場所がある社会

 子どもが元気だと、地域も元気に

 校種が変わっても地域の居場所は継続して通える。
小さい頃から大きくなっても
いつも会う人なら相談しやすい

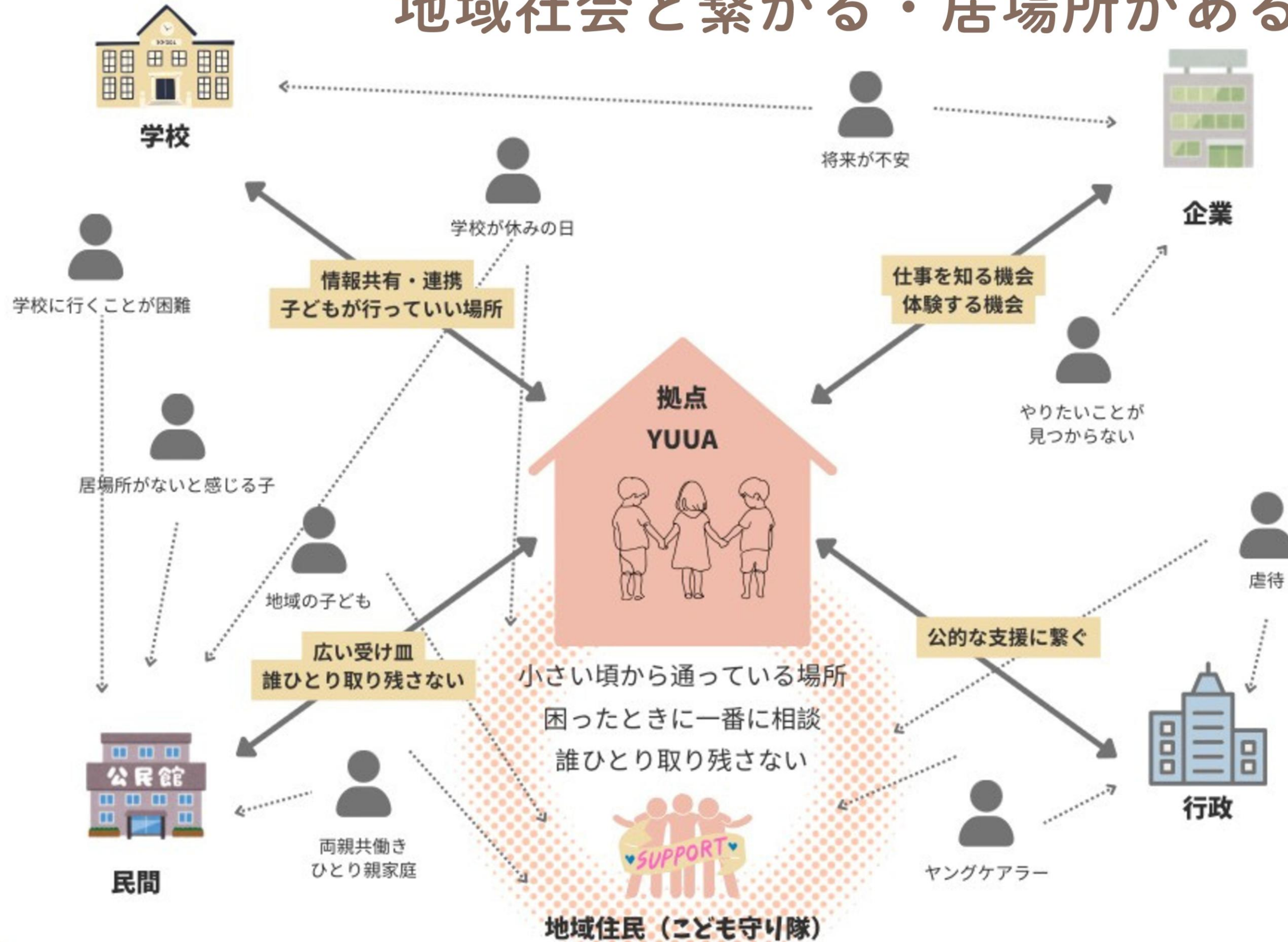
 年齢・特性・登校・不登校
関係なく関わり続けられる

 指導ではなく見守る関係性
短所ではなく長所を見て伸ばす

 地域に居場所があり、関わりがあれば
地元で愛着がわき、地元に残る人・
貢献する人が増える。

社会を変えるアイデア

地域社会と繋がる・居場所がある



今後の展望

この半年間、熟考しても変わらなかった思いやこだわり

子どもにとって行きたい時に自分の意思で行ける「駆け込み寺」のような場所を拠点に持ちたい。食事や寝泊まりもできるシェルター、もしもの時の一時保護の役割も担いたい。

結局自分は何がしたいのか

子どもが安心して希望をもって生きられる地域社会を作りたい。
子どもが抱える悩みに寄り添い、少しでも解決の手伝いがしたい。
子どもを真ん中に置きながらも、地域と関わり、地域を元気にしたい。
→様々な人や機関と関わり協力する必要がある。

杉山結愛の軸

誰も取り残さない
地域密着型の
子どもの居場所

地域の
緩くて温かい
繋がり

清水に恩返し
そして次世代に
恩送り

私が人生をかけて叶えたい夢

やりたいことはたくさん...

- YUUAを「子どもがふらっと来れる地域の居場所」として確立する
- 清水駅前銀座商店街の紹介パンフレット作成
- YUUAの子どもの体験活動の充実
- こどもが安心できる居場所マップ作成
- 学校や民間施設との連携（つなぐ役割）
- 子どもと企業を繋ぐ（仕事体験・しごと図鑑）
- 地域の子どもと大人を繋ぐ、地域で子育て
- こどもシェルター（一時保護の役割も）
- こども開発 こども×清水の名産、グッズ作成
- こどもタクシー

仲間

場所

資金

アイデア

体験活動